

(写)

24 危第 243 号
24 自保第 289 号
平成 25 年 3 月 22 日

防衛大臣 小野寺 五典 様

長野県知事 阿部 守一

MV-22 オスプレイの飛行訓練について (要請)

この 3 月 6 日から 8 日にかけて、「オレンジルート」と言われる経路において、在日米軍による MV-22 オスプレイの飛行訓練が実施されました。

これまで本県では、MV-22 オスプレイの安全性への懸念が払拭されない限り、飛行訓練が実施されないよう要請してきたところであります。

昨年 7 月 2 日には、政府として MV-22 オスプレイの安全性を十分確認するとともに、確認結果をわかりやすく説明することと、安全性への懸念が払拭されない限り、国内での飛行訓練が行われないようにすることを防衛大臣に要請しました。

さらに、10 月には、飛行訓練ルートや訓練内容の詳細についての質問書を、北関東防衛局長に提出したところでありますが、MV-22 オスプレイの安全性に関する県民の不安はいまだ払拭されたとは言えません。

政府におかれては、MV-22 オスプレイの安全性や訓練時期、訓練時間、飛行訓練コースなどの具体的内容について、関係自治体及び地域住民に対し事前に十分説明するとともに、県民に不安や懸念を抱かせるような飛行訓練が実施されないよう、飛行高度や区域等に関する日米合同委員会合意事項の遵守について、在日米軍に強く求めることを要請します。

また、「ブルールート」と言われる飛行訓練コースの一部が本県に含まれる可能性があります。この経路の周辺は、イヌワシやライチョウといった絶滅危惧種の生息が確認されている重要な地域であり、MV-22 オスプレイの飛行訓練がこれら希少種の繁殖等に与える影響を懸念する声が県に寄せられております。

飛行訓練が実施されるにあたっては、イヌワシやライチョウ等の希少野生動植物の生息環境に与える影響の低減に配慮し、適切な対策を講ずるよう、在日米軍に求めることを重ねて要請します。

危機管理部 危機管理防災課 危機管理係
(課長) 池田秀幸 (担当) 松沢正雄、飯島理志
電話 : 026-235-7184 (直通)
026-232-0111 (代表) 内線 5225
FAX : 026-233-4332
E-mail : bosai@pref.nagano.lg.jp

環境部 自然保護課 自然保護係
(課長) 市村敏文 (担当) 竹村浩一郎、出口栄也
電話 : 026-235-7178 (直通)
026-232-0111 (代表) 内線 2772
FAX : 026-235-7498
E-mail : shizenhogo@pref.nagano.lg.jp